

2018

[共同研究]

古代東アジアにおける 倭世界の実態

上野祥史 編

共同研究の概要 上野祥史

【第1部】倭王権の実態

倭王権と
倭国史をめぐる論点 岸本直文

前方後円墳の設計原理と
墳丘大型化のプロセス 新納 泉

古墳時代における
鏡の分配と保有 上野祥史

【第2部】王権の比較

百済の王号・侯号・
太守号と將軍号 井上直樹

百済墓制の
展開と王権の動向 山本孝文

新羅積石木槨墓の
埋葬プロセス 高久健二

神功紀外交記事の基礎的考察 仁藤敦史

【第3部】倭の地域社会

ヤマト王権中枢部の有力地域集団 坂 靖

倭王権の地域構造 松木武彦

東国における古墳時代地域経営の諸段階 若狭徹

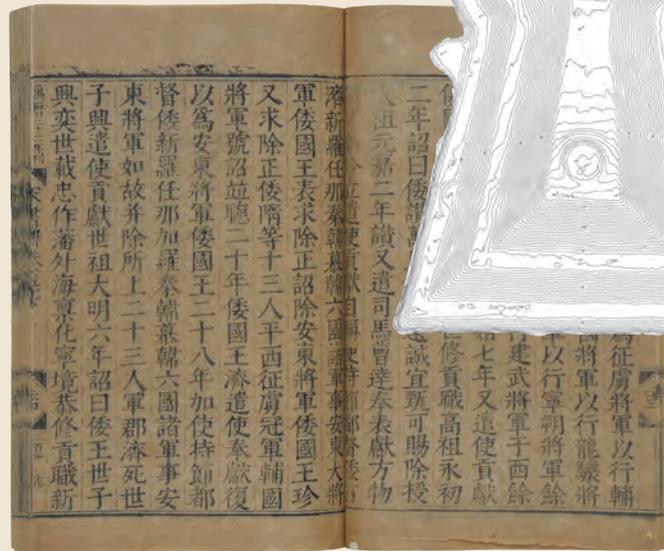
弥生時代後期集落の消長よりみた古墳時代前期有力首長墓系譜出現の背景 杉井 健

【第4部】倭世界の境界

古墳と南島社会 橋本達也

弥生時代後期から古墳時代の
北海道・東北地方における考古学的文化の分布 藤沢 敦

5,6世紀朝鮮半島西南部における「倭系古墳」の造営背景 高田貫太



国立歴史民俗博物館 研究報告

第211集
平成30年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

Collaborative Research:
Real Image of the World of Wa in East Asia

Edited by UENO Yoshifumi

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第211集**

【共同研究】
古代東アジアにおける倭世界の実態

上野祥史 編

国立歴史民俗博物館研究報告 第211集
[共同研究]古代東アジアにおける倭世界の実態

目次

共同研究の概要	上野祥史	1
第1部 倭王権の実態		
倭王権と倭国史をめぐる論点	岸本直文	15
前方後円墳の設計原理と墳丘大型化のプロセス	新納 泉	51
古墳時代における鏡の分配と保有	上野祥史	79
第2部 王権の比較		
百済の王号・侯号・太守号と將軍号 5世紀後半の百済の支配秩序と東アジア	井上直樹	113
百済墓制の展開と王権の動向	山本孝文	141
新羅積石木槨墓の埋葬プロセス 皇南大塚を中心に	高久健二	167
神功紀外交記事の基礎的考察	仁藤敦史	211
第3部 倭の地域社会		
ヤマト王権中枢部の有力地域集団 「おおやまと」古墳集団の伸張	坂 靖	239
倭王権の地域構造 小古墳と集落を中心とした分析より	松木武彦	271
東国における古墳時代地域経営の諸段階 上毛野地域を中心として	若狭 徹	307
弥生時代後期集落の消長よりみた 古墳時代前期有力首長墓系譜出現の背景 なぜそこに古墳は築かれたのか	杉井 健	351

第4部 倭世界の境界

古墳と南島社会 古墳時代における南の境界域の実相・広域交流・民族形成	橋本達也	411
弥生時代後期から古墳時代の 北海道・東北地方における考古学的文化の 分布	藤沢 敦	447
5, 6世紀朝鮮半島西南部における 「倭系古墳」の造営背景	高田貫太	487

Contents:

UENO Yoshifumi	Overview of the Collaborative Research	1
Part I		
KISHIMOTO Naofumi	Points to Be Examined to Elucidate the Royal Regime of Wa and the History of the Wa State	15
NIIRO Izumi	Construction Design of the Keyhole-shaped Burial Mounds and the Process of Increase in their Size	51
UENO Yoshifumi	Distribution and Possession of Mirrors in the Kofun Period	79
Part II		
INOUE Naoki	Chinese Title of General and Baekje Titles of King, Marquis, and Governor : Baekje's Regime Structure and East Asia in the Late Fifth Century	113
YAMAMOTO Takafumi	Development of Baekje Burial Practices and Dynamics of the Baekje Dynasty	141
TAKAKU Kenji	Burial Process of Wooden-chambered Cairns in Silla : Focusing on Hwangnamdaechong Tomb	167
NITO Atsushi	Basic Consideration of the Empress Zingu Period Diplomatic Article	211
Part III		
BAN Yasushi	Powerful Regional Clans Forming the Mainstay of the Yamato Polity : Expansion of Influence of the Ōyamato Tumulus Clan	239
MATSUGI Takehiko	Regional Structure of the Yamato Polity : An Analysis Focusing on Small Mounded Tombs and Settlements	271
WAKASA Toru	Staged Development of Regional Governance in the Eastern Provinces in the Kofun Period : Focusing on Kamitsukeno Province	307
SUGII Takeshi	An Analysis of the Rise and Decline of Late Yayoi Settlements as Factors behind the Emergence of Clusters of Prominent Chiefs' Tombs in the Early Kofun Period : Why Did Mounded Tombs Appear There?	351

Part IV

HASHIMOTO Tatsuya	— Tumuli and Southern Islands Society : The Actual Status of the Southern Frontier Area, Inter-regional Interactions, and the Formation of Ethnic group in the Kofun Period	411
FUJISAWA Atsushi	—— Distribution of Archaeological Cultures in the Hokkaido and Tōhoku Regions in the Late Yayoi and Kofun Periods	447
TAKATA Kanta	———— An Analysis of the Background of Japanese-style Tombs Built in the Southwestern Korean Peninsula in the Fifth and Sixth Centuries	487

第1部

倭王権の実態

第2部 王権の比較

第3部

倭の地域社会

第4部

倭世界の境界

『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を發表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。
- 1.3 掲載される論文等には、次の区分がある。
 - 一 論文：歴史学、考古学及び民俗学並びにそれらと関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの
 - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの
 - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの
 - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、若しくは調査・研究の基礎情報を提示するもの
- 1.4 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。

2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授
 - 二 本館運営会議委員
 - 三 本館の共同研究員等
 - 四 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)
 - 五 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の發表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生
 - 七 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 八 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の共同研究員等
 - 二 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者

3 投稿

- 3.1 原稿は、区分を問わず未發表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.2 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.3 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳又は抄訳を付ける。
- 3.4 「論文」には、800 字以内の日本語要旨及び 400 語程度の英語要旨並びに 5 項目以内のキーワードを付ける。
- 3.5 原稿の分量は、区分を問わず刷り上がりが 40 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内を目安とする。なお、1 頁の文字数は 1,700 字を目安とする。
- 3.6 特集号の原稿の総分量は、原則として、刷り上がりが 500 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内に収めるものとする。
- 3.7 カラー図版は、原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、委員会の許可を得る。
- 3.8 写真・図版・翻刻等の研究報告及び本館のリポジトリへの掲載に関する許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担する。

3.9 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は別に定める。

4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。
- 4.3 掲載順序は、通常号においては「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」の順とし、同区分の場合は著者の五十音順とする。特集号においては本館共同研究等の代表が定める。

5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は刊行から1年後以降、データのみの場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、100部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員 (五十音順)

伊藤紫織 尚美学園大学芸術情報学部
田中 裕 茨城大学人文社会科学部
本郷恵子 東京大学史料編纂所
和田 健 千葉大学国際教養学部・大学院人文公共学府

館内委員

工藤雄一郎 研究部考古研究系
小池 淳一 研究部民俗研究系 (編集委員長)
後藤 真 研究部
樋浦 郷子 研究部
関沢まゆみ 研究部民俗研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第211集
〔共同研究〕古代東アジアにおける倭世界の实態
上野祥史 編

●
平成30年(2018) 3月30日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所

●
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●
株式会社 弘文社

〒272-0033 千葉県市川市市川南2-7-2 ☎047-324-5977

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research :
Real Image of the World of Wa in East Asia

Edited by UENO Yoshifumi

Overview of the Collaborative Research
UENO Yoshifumi

Part I

Points to Be Examined to Elucidate the Royal Regime of Wa and the History of the Wa State

KISHIMOTO Naofumi

Construction Design of the Keyhole-shaped Burial Mounds and the Process of Increase in their Size

NIIRO Izumi

Distribution and Possession of Mirrors in the Kofun Period

UENO Yoshifumi

Part II

Chinese Title of General and Baekje Titles of King, Marquis, and Governor :
Baekje's Regime Structure and East Asia in the Late Fifth Century

INOUE Naoki

Development of Baekje Burial Practices and Dynamics of the Baekje Dynasty

YAMAMOTO Takafumi

Burial Process of Wooden-chambered Cairns in Silla : Focusing on Hwangnamdaechong Tomb

TAKAKU Kenji

Basic Consideration of the Empress Zingu Period Diplomatic Article

NITO Atsushi

Part III

Powerful Regional Clans Forming the Mainstay of the Yamato Polity : Expansion of Influence of the Ōyamato Tumulus Clan

BAN Yasushi

Regional Structure of the Yamato Polity : An Analysis Focusing on Small Mounded Tombs and Settlements

MATSUGI Takehiko

Staged Development of Regional Governance in the Eastern Provinces in the Kofun Period :

Focusing on Kamitsukeno Province

WAKASA Toru

An Analysis of the Rise and Decline of Late Yayoi Settlements as Factors behind
the Emergence of Clusters of Prominent Chiefs' Tombs in the Early Kofun Period : Why Did Mounded Tombs Appear There?

SUGII Takeshi

Part IV

Tumuli and Southern Islands Society : The Actual Status of the Southern Frontier Area,
Inter-regional Interactions, and the Formation of Ethnic group in the Kofun Period

HASHIMOTO Tatsuya

Distribution of Archaeological Cultures in the Hokkaido and Tōhoku Regions in the Late Yayoi and Kofun Periods

FUJISAWA Atsushi

An Analysis of the Background of Japanese-style Tombs Built
in the Southwestern Korean Peninsula in the Fifth and Sixth Centuries

TAKATA Kanta

ISSN 0286-7400

vol. 211
2018